

事業所名

多機能型拠点ラポリバース 児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

6年

8月

29日

法人（事業所）理念		～働くことを通して自ら輝き、人を輝かせ、社会を輝かせる～							
支援方針		<p>①就学前の障害のあるお子様に対し、通所により、感覚統合運動、創作活動、遊具を使った活動、音楽療育、学習支援、言葉の訓練、季節の行事、地域資源の活用、集団での活動、余暇、外出などにより持てる力を伸ばし、集団への適応を図り、生活技術を獲得し、社会性を育み、社会との交流を図ることができるよう、心身の状況や環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。</p> <p>【うみ組】・・・必要な医療的ケアや体調管理を行い、食事や排泄等の日常生活動作の獲得を目指して活動しています。また、身体を動かす遊びを通してボディイメージを育み、自分を取りまく環境に関心を広げ、お友だちとの関わり方を学びます。</p> <p>【そら組】・・・集団意識の形成、コミュニケーションを育てる活動を行います。活動の中で順番を待つ、お友だちの前で発表する場面を設け、他者意識を育みます。また、集団の中でのルールを身につけることも目的のひとつとしています。簡単なルールのある遊び（勝ち負けや順番があるもの）では、ルール理解、感情のコントロールの仕方を知ることねらいとしています。</p>							
営業時間（1）	平日	10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	※必要に応じて対応いたします。
営業時間（2）	祝日	10時	0分	16時	0分				
営業時間（3）	土曜	10時	0分	14時	0分				
支援内容									
本人支援	健康・生活	毎月第2火曜の嘱託医による内科検診、第3金曜の訪問歯科による検診で健康状態を確認する機会を提供し、常勤看護師による医療的ケアと日々の健康観察を行い、必要な児童には午睡の時間を設け適切な睡眠時間の調整を行います。また、施設内の厨房で手作りの昼食・おやつ提供による栄養管理、食事介助、食育を行い、毎月火災または地震を想定した避難訓練を実施し、介護サービスとして、更衣、排泄等（トイレトレーニング）の身体介護・訓練を行うなど基本的な生活習慣、生活技術を身につけるための支援をしております。							
	運動・感覚	毎日日替わりで行う設定活動として「運動」「感触あそび」「感覚統合」「製作」等を行っています。「運動」では身体を動かし、ボディイメージを育むことや固有覚・前庭覚に働きかける刺激を入力しています。また、お友だちと一緒に取り組む遊びを通して協調性や感情をコントロールすることを育てていきます。遊び・・・壁押し、ジャンプトレーニング、ミット打ち、壁倒立、手押し車、追いかっこ、綱引き等「感触」では様々な感触素材に触れ、手先の感覚を育むことや固有覚に刺激を入力することを目的としています。また、混色や素材が変化の様子を感覚的にとらえることをねらいとしています。遊び・・・新聞紙破り、春雨・寒天・豆腐等に触ってみよう！、小麦粉粘土、触覚板マラソン、マッサージ、フィンガーペインティング							
	認知・行動	毎日日替わりで行う設定活動として「感覚統合」「製作」「運動」等を行っています。人間の感覚には、五感（触覚、視覚、聴覚、味覚、嗅覚）に加えて、固有受容覚（手足の状態・筋肉の伸び縮みや関節の動きを感じる感覚）、前庭覚（身体の動きや傾き、スピードを感じる感覚）と言った7つの感覚があります。これらの感覚をきちんと分類したり整理したりすることを統合といい、次々と身体に入っていくとこの7つの感覚を整理したり分類したりすることを感覚統合と呼びます。「感覚統合」ではこの動きにアプローチすることによって場面に応じた感覚の調整や注意の向け方ができるようになり、自分の身体を把握すること、道具を使いこなすこと、人とコミュニケーションを取るといった周囲の状況の把握とそれをふまえた行動ができるようになります。遊び・・・ハンモック、回転いす、風船キャッチ、トランポリン、絵カードを使ったお買い物ゲーム、平均台							
	言語コミュニケーション	朝の会、帰りの会で名前を呼び返事をすることでお友達の顔や名前を覚え、挨拶をしたり、お友だちとの関わりが描かれた絵本や紙芝居などを読み聞かせするところで、言葉によるコミュニケーションを学べるように促していきます。感謝や謝罪のコミュニケーションの見本を見せるため、「自由遊び」の時間にはお友だちからおもちゃを借りたら「ありがとう」、お友だちに対していけないことをしてしまった時には「ごめんなさい」や「貸して」、「いいよ」を一緒に言います。毎日日替わりで行う設定活動として「リトミック」「感覚統合」等を行っています。							
	人間関係社会性	小集団での活動を通して他者との関わりを学び、「外遊び」では8月は水遊び、土曜・祝日は公園や児童館へ出かけることもあり、外出を通して季節を感じることで、公共施設や集団の中でルールを守ることを目的としています。毎日日替わりで行う設定活動として「リトミック」「音楽」等を行っています。「リトミック」では活動を通して音楽を聴いて感じたことを表現する力や協調性、社会性を身につけていきます。リトミックでは音楽に合わせて体操や手遊びをするため全身を使います。遊びを通して身体の使い方を学び、反射神経や身体能力を養っていきます。また、ピアノの音に合わせて動くので、リズム感が自然と身につきます。「音楽」では音楽を通して即時反応やルール理解を育むことを目的としています。季節に合わせて歌を歌うこともあります。遊び・・・ゴーストストップ、真似っこ太鼓叩き、音楽演奏、ロンドン橋、イス取りゲーム、わらべ歌、手遊び、音楽を聴きながら絵を描く等							
家族支援	連絡帳や送迎時にご利用時の様子をお伝えしていきます。子育てに関する不安や困難さなどを相談しやすいよう送迎者を子育て経験のある職員にしています。また、HUG（インターネット上の保護者様専用ページ）を使用し、写真付きで活動報告を行います。その他、必要に応じて面談、電話相談等を実施しています。学習会やつづやきカフェなどを実施し、他の保護者の方と関わることでできる機会をつくっています。				移行支援		移行についてのお子様・ご家族のニーズを確認し、お子様の状態像をアセスメントして行きます。移行先と連携し、お子様のペースに合わせた移行計画を作成します。状態に応じ臨機応変に進め、移行先との連携ネットワークは切らずことなく情報を交換しながら一緒に考え、切れ目のない縦横連携に努めています。		
地域支援・地域連携	計画相談のモニタリング等を通して関係機関との関わりを持ちます。そのような機会にお互いの情報を共有していきます。課題を関係機関で共有し、共通の認識を持って目標達成を目指すことで効果的な訓練・支援を行うことができると考えます。また、年3回の総合支援協議会子ども部会への主体的参加や自治会に参加し、地域との連携に努めています。				職員の質の向上		朝礼、終礼、土曜ミーティング、毎月の職員会議等で情報を共有し、問題点を話し合い、より良い支援へとつなげています。社内・社外での各種研修への参加や、法人の資格取得助成制度を活用し質の向上に努めています。		
主な行事等	児童参加のイベントとしては夏場の「水遊び」、12月の「クリスマス会」、3月の「卒所式」、毎月1回保護者の方にも設定活動に参加して頂ける「親子教室」、毎月1回保護者の方同士で飲み物を飲みながらおしゃべりして頂く「つづやきカフェ」では日頃の雑談や子育ての悩みなど気軽におしゃべりして頂いています。公認心理師による隔月開催の「学習会」、各種「発達検査」「知能検査」は無料で実施しています。毎年3月には「保護者会」を実施し、毎月の避難訓練で1月と4月には消防署に協力を頂き「煙トンネル」「起震車」体験等をしていただくこともあります。								